



どとく (一社) 富山県西部観光社：「土徳」という精神文化を伝える観光地域づくり

地域の経済人が主体となって立ち上げた地域連携DMO（2019.5）

◎マネジメントエリア：富山県高岡市、氷見市、射水市、砺波市、
小矢部市、南砺市

◎ターゲット：クリエイティブクラスター（ものづくりに関心を示す層）」と「新しい
富裕層（モダン・ラグジュアリー層）」

富山の土徳：地域の深掘りブランディング。「厳しくも豊かな自然と人々が共生しながら作り上げてきた土地の品格」。民藝運動の創始者・柳宗悦による造語。



富山の「土徳」の象徴である散居村

旅行商品開発

○DMC機能を担う「（株）水と匠」の2つの組織が連携する体制で、**地域の観光事業者や観光協会とも連携**し、新たな商品開発を推進。

○これまで**観光と直接関係のなかった**伝統産業、寺院、漁業・農業事業者などを巻き込み、練り上げた**地域のブランドストーリー**でそれらをつなぎながら、**地域ならではの体験**ができるプログラムを用意し、高付加価値なテラーメイドによるツアー提供を行なっている。国内外の富裕層向け旅行代理店15社と取引。

○観光を手段とした地域づくり法人として、地域の魅力と課題を来訪者に体感いただくための「**ライフスタイル体験**」商品を開発している。特に地域住民と直接触れ合えるコンテンツが非常に好評。



寺院における体験ツアーの様子



地域住民と交流の機会となる「散居村ウォーク」

プロダクト販売&商品開発

○質・デザイン性の高い富山プロダクトをセレクトし、オンラインストアおよび実店舗（3店舗）にて販売を展開。

○異なる業種のプロダクトを組み合わせたり（ex.海鮮加工品＋日本酒、ウイスキー＋工芸品）、地域で廃棄される資源を活かした新たな商品開発（ex.精油ミスト）を行うことで、地域の資源保全・産業活性に寄与。

○地域のプロモーション→観光→体験・宿泊・買い物→オンラインで買い物→再訪 の循環を目指す。



実店舗 & オンラインによる販売



屋敷林剪定枝から作った精油ミスト「カイミックス」

空き家・古民家物件開発

○観光を手段とした地域づくり法人として、地域の課題である空き家や古民家を改修し、宿や飲食施設として活用するエリア開発を実施。

○現在（2024年）、築200年の農家を改修した3室限定のスモールラグジュアリーホテル「楽土庵」と、550年の歴史を持つ城端別院善徳寺内の「杜人舎」の2件を運営。

○リジェネラティブ（再生）・ツーリズムの推進：来訪者と地域の両方の再生を目指す。楽土庵では、宿泊費の2%を寄付金として預かるなど、散居村保全活動にも取り組んでいる。物件開発が、地域への投資や新規ビジネス、人材を呼び込むきっかけに。



古民家を改修した宿「楽土庵」



泊まれる民藝館「杜人舎」